

第38回「地方の時代」映像祭2018 入賞作品発表 長崎ケーブルメディアが映像祭初の審査員特別賞！

「地方の時代」映像祭実行委員会（吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟）では、11月10日（土）から16日（金）の間、第38回「地方の時代」映像祭2018 を関西大学千里山キャンパスで開催しております。

「地方の時代」映像祭は、放送局部門、ケーブルテレビ部門、市民・学生・自治体部門、高校生（中学生）部門の4つの部門から成る映像コンテストで、「地域でなければ見えないもの、地方だからこそ伝えられること」をテーマにした作品を募集しています。1980年の開始以来38回を数え、今年は293作品の応募（内訳：放送局147、ケーブルテレビ52、市民・学生・自治体75、高校生（中学生）19）がありました。

11月10日（土）に開催した贈賞式では、コンテストの各賞を発表し、グランプリは放送局部門「菜の花の沖縄日記」（沖縄テレビ放送）が獲得。ケーブルテレビ部門は下記の7作品が入賞し、2作品が優秀賞になったことに加え、「かえる先生のいきもの交遊録 総集編」（長崎ケーブルメディア）には、この映像祭で初めてとなる審査員特別賞が贈られました。これは、ケーブルテレビ部門の応募作品のレベル向上が近年顕著となっているという全体評価とともに、該当作品は“かえる先生”と呼ばれる元高校教師と共に地域を歩き、身近な生き物を紹介しながら環境問題にやさしく触れて行くシリーズを7年も続けていることなどが高く評価されたことにより、規定には無かった特別賞として式典の場で発表されたものです。

なお、放送・配信の許諾が確認できた作品は、AJC-CMS（全国ケーブルテレビコンテンツ流通システム）を通じて全国のケーブルテレビに配信するほか、動画配信サイト「じもテレ」で近日公開する予定です。

また、グランプリ作品は、2018年12月1日（日）14:00～17:00 関西大学東京センターにおいて上映会を行います。ぜひご参加ください。

<http://www.chihounojidai.jp/guide/event.html>



↑ケーブルテレビ部門受賞の皆さん

<ケーブルテレビ部門>

優秀賞 「かえる先生のいきもの交遊録 総集編」長崎ケーブルメディア

「いのちをかうこと」ひまわりネットワーク

選 奨 「海龍～伝えたい、戦争の記憶～」伊万里ケーブルテレビジョン

「東海の肖像No.53 墓碑に刻まれた平和の願い」キャッチネットワーク

「報道特番2017 笑顔と歌声を乗せて走るスーパーマーケット

～東吾野の移動販売～」飯能ケーブルテレビ

「けーぶるにつぼん祭JAPAN Season.2

青森 ねぶた師、表現者の365日」青森ケーブルテレビ

「まつろわぬ者～隼人伝～」BTV

審査員特別賞 「かえる先生のいきもの交遊録 総集編」長崎ケーブルメディア

↓平山穂乃香さん（長崎）



～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 <<http://www.catv-jcta.jp>>

コンテンツ部 担当: 桑野・大平・中田 TEL: 03-3566-8200 E-mail: jcta_contents-lab@catv.or.jp

第38回「地方の時代」映像祭2018
入賞作品一覧

◆放送局部門

タイトル	団体名	収録時間
エイゾウ イチナナ キョウイクトアイコク キョウカショデイマナゴキテイルノカ	マイニチホウソウ	50分
映像'17 教育と愛国 教科書でいま何が起きているのか	毎日放送	
ミカエリマチ キョウダイカスルベイグンイワクニキチ	ヤマダチアサヒホウソウ	46分
見返りのまち～極大化する米軍岩国基地～	山口朝日放送	
エヌエイチケイスペシャル スクーパドキュメント オキナワトカク	エヌエイチケイオキナワホウソウキョク	50分
NHKスペシャル スクーパドキュメント 沖縄と核	NHK沖縄放送局	
ゲンバクガノコシタコラ タイナイヒバクシヨウトウジラササエテ	チュウゴクホウソウ	51分
原爆が遺した子ら ～胎内被爆小頭児をささえて～	中国放送	
ナノハノオキナワニッキ	オキナワテレビホウソウ	47分
菜の花の沖縄日記	沖縄テレビ放送	
イーティーブイトクシュウ ラーマンツバヤキ コノシヤカイノカサミデ	ニッポンホウソウキョウカイ	59分
ETV特集「ラーマのつぶやき～この社会の片隅で～」	日本放送協会	
ネムルムラ ナバリドクブドウシュジケン ゴジュウシチネンメシジツ	トウカイテレビホウソウ	74分
眠る村～名張毒ぶどう酒事件 57年目の真実～	東海テレビ放送	
ハモン イサハヤウカンタク ワカイヲモトメテ	ナガサキホウソウ	46分
波紋 諫早湾干拓 和解を求めて	長崎放送	
イーティーブイトクシュウ コクハウ マンモウカイタクダンノオンナチ	エヌエイチケイゴフ、ナゴヤ、ダイイチセイサクセンター、フナカフクシヤシヤグミフ	59分
ETV特集「告白 ～満蒙開拓団の女たち～」	NHK岐阜放送局、NHK名古屋放送局、NHK第1制作センター 文化・福祉番組部	

◆ケーブルテレビ部門

タイトル	団体名	収録時間
カイリユウ ツタエタイ センソウノキオク	イマリケーブルテレビジョン	57分
海龍～伝えたい、戦争の記憶～	伊万里ケーブルテレビジョン	
カエルセンセイノイキモノコウコウロク ソウシュウヘン	ナガサキケーブルメディア	58分
かえる先生のいきもの交遊録 総集編	長崎ケーブルメディア	
イノチカウコト	ヒマワリネットワーク	39分
いのちをかうこと	ひまわりネットワーク	
トウカイノショウゾウ ナンバーゴジウサン ボヒニキザメラテヘイワノネガイ	キャッチネットワーク	28分
東海の肖像 No.53 墓碑に刻まれた平和の願い	キャッチネットワーク	
ホウドウトクバンニイマルイチナナ エガオウトウゴエラノセテ ハシルスーパーマーケット ヒガシアガノイドウハンバイ	ハンノウケーブルテレビ	12分
報道特番2017 笑顔と歌声を乗せて 走るスーパーマーケット ～東吾野の移動販売～	飯能ケーブルテレビ	
ケーブルニッポンマリツジャパン アオモリ ネプタシ ヒョウゲンシヤノサンビヤクロクジュウゴニチ	アオモリケーブルテレビ	25分
けーぶるのつぼん祭・JAPAN 青森 ねぶた師、表現者の365日	青森ケーブルテレビ	
マツロフモノ ハヤトデン	ビーティーヴィー	29分
まつろわぬ者～隼人伝～	BTV	

◆市民・学生・自治体部門

タイトル	団体名	収録時間
フタツノセイニシバラレテ エックスラエラビタイワタシタチ	カンサイダイガク サトミゼミ	15分
2つの性に縛られて Xを選びたい私たち	関西大学・里見ゼミ	
ワタシハナニモノデアルノカ アルタイワジンジノショウゲン	チュウオウダイガクエフエルビー・マツノゼミ	19分
「私は何者であるのか…」～ある台湾人学徒の証言～	中央大学FLP松野ゼミ	
チキキリヨウハ、チキガママル	ワッカナイホウセイイクエンダイガク チキキリヨウプロジェクト	22分
地域医療は、地域が守る。	稚内北星学園大学 地域医療プロジェクト	
ナキヒトヘノテガミ ナガセナイオモイ	リュウコウダイガクシヤカイガクブ ガッカマツモトジッシュウ	14分
亡き人への手紙～流せない想い～	龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科松本美智	
モリヲフタタビ	ウータン モリセイカツランガエルカイ	17分
森をふたたび	ウータン・森と生活を考える会	
ヒロバヲオエ レキシカラキエタゾウ	カンサイダイガクシヤカイガクブクロダイサムゼミ	22分
ひろばを追え！！～歴史から消えたゾウ～	関西大学社会学部黒田勇ゼミ	
バクショウ ミノナガシニワカ セカイサンノマチノオトコノビガク	ナカムラヨシトモ	60分
爆笑・美濃流し仁輪加～世界遺産の町の美学～	中村儀朋	
イモウトワタシ ミキエンゲキセマナーチノゴカゲツ	カンサイダイガクソウゴウジョウホウガクブオカダゼミ	28分
「妹と私」みき演劇セミナーでの5ヶ月	関西大学総合情報学部岡田ゼミ	
ココロココロヲツナグジャズ	ジョウチダイガクミズシマヒロアキゼミ アツミユリコ	15分
心と心をつなぐジャズ	上智大学水島宏明ゼミ 渥美佑里子	
エンビツニギツテ	ジョウチダイガクミズシマヒロアキゼミ ツダマユコ	12分
えんぴつを握って。	上智大学水島宏明ゼミ 津田真由子	

◆高校生(中学生)部門

タイトル	団体名	収録時間
シャベリマクレ ジダイヲコエルシジン	ホッカイドウアサヒワコウキョウコウトウガッコウ	24分
しゃべり捲くれ～時代を超える詩人～	北海道旭川工業高等学校	
ステップバイステップ	フクシマケンリツワキコウトウガッコウ	5分
step by step.	福島県立磐城高等学校	
ヒキアゲラツタエル ワタシタチニデキルコト	モト フクオカシツノマチュウガッコウホウソウブ	10分
引揚げを伝える～私たちにできること～	元 福岡市立野間中学校放送部	
モンヲツクロウ	サイタマケンリツワゴエコウトウガッコウ	12分
門を作る	埼玉県立川越高等学校	
ユメツムギ	ヒョウゴケンリツノコウトウガッコウ	8分
夢つむぎ	兵庫県立小野高等学校	
ドリーム ア ドリーム	ナガノケンマツモミズズガコウトウガッコウ	5.5分
Dream a dream	長野県松本美須ヶ丘高等学校	
サイキハ アルチホウテッドウノオハナシ	シズオカタイセイコウトウガッコウ	5分
再起へ～ある地方鉄道のおはなし～	静岡大成高等学校	
テクノホウヨウ	フクイケンリツウスイコウトウガッコウ	6分
テクノ×法要	福井県立羽水高等学校	



伊万里ケーブルテレビジョン

[2017/8/15放送]

海龍

～伝えたい、戦争の記憶～

◎プロデューサー／大鋸あゆり

◎ディレクター／大鋸あゆり

[57分]

●制作意図

2012年3月。特殊潜航艇「海龍」が製造された建物が解体された。ショックだった。戦争遺構を残してほしいと、その価値を伝える報道を続けていたからだ。

こうなった以上、証言だけでも残そうと取材を続ける中で、海龍に関するまとまった文献が少ないことを知る。ならば自分でまとめてみよう一念発起。関係者の搜索、史料調査を開始した。

●あらすじ

佐賀県伊万里市山代町浦ノ崎。海岸沿いの広大な更地には、かつて第二次世界大戦中に軍需工場となり、終戦間際に特攻兵器「海龍」を製造した川南造船所があった。

実戦を交えることなく終戦を迎えた「海龍」だが、多くの人が様々な思いを抱きながら、その開発や製造、訓練に関わっていた。史実に沿いながら、その時代を生きた人々の思いに迫る。

長崎ケーブルメディア [2018/3/26放送]



かえる先生のいきもの交遊録 総集編

◎プロデューサー／大野陽一郎

◎ディレクター／平山穂乃香

[58分]

●制作意図

カエルを愛し、「かえる先生」の愛称で親しまれてきた松尾公則先生は、37年間の高校教員生活を終え、現在大学の講師として働きながら、長崎県のいきものを調査・観察しています。そんなかえる先生と長崎のいきものを見つめるシリーズ番組「かえる先生のいきもの交遊録」。月に1度、長崎に住む生き物を中心にテーマを決め、その生態について紹介してきました。かえる先生や、かえる先生の生き物研究仲間である人たちから話を聞くと、私たちが思うよりもずっと身近に色々な生き物が住んでおり、ずっと昔から生活してきたことがわかります。今回はこれまで紹介したいいきものを「総集編」として振り返り、私たちと生き物の関係を見つめます。

●あらすじ

「かえる先生」シリーズでこれまで紹介してきた生き物の中から、絶滅危惧種、外来生物、調査研究されている種にスポットを当て、総集編としてまとめました。カエル、チョウ、カメ、魚や哺乳類…それぞれの生き物たちの生活から、人間との関わり、長年の環境変化による影響が見えてきます。かえる先生こと松尾公則をはじめ、生き物の研究仲間であるたくさんの人の話を通して、私たちの身近にある環境問題を問いかけます。

ひまわりネットワーク [2018/3/17放送]



いのちをかうこと

◎プロデューサー／森下憲、松田憲道

◎ディレクター／原田栄

[39分]

●制作意図

犬好きの家庭で育ち、犬と一緒に過ごす生活が日常の私にとって、動物は家族同然の存在です。多くの動物が飼育放棄や殺処分されている現実はとても悲しく、少しでも悲しい命を減らすことに繋がればという気持ちで制作しました。取材の舞台となる豊田市動物愛護センターにたどり着くのは、様々な事情を抱えた動物たちです。取材活動を通じて、動物の命を選別する立場にある職員の葛藤を肌で感じる一方、真剣に命を救おうとしているボランティアの人たちに出会いました。動物を取り巻く「現実」をありのままにみせることで、番組を視聴した方に「いのちをかうこと」の責任を考えるきっかけにして欲しいと思います。

●あらすじ

家族の一員になるはずだった動物たちがたどり着いた檻の中。愛知県豊田市にある動物愛護センターには「飼育放棄」など様々な理由で動物たちが日々、運び込まれます。ペットブームの裏側で、無くならない殺処分。それを無くしていく為に、私たちが出来ることは何なのか？番組は、豊田市動物愛護センターやボランティアの活動に密着。人間と動物の関わり方のヒントを探ります。

キャッチネットワーク [2017/8/25放送]

東海の肖像 No.53 墓碑に刻まれた平和の願い

◎プロデューサー／大市能史

◎ディレクター／小楠由里子

[28分]



●制作意図

第二次世界大戦で敵国となったイタリア人フォスコマライーニさん家族を石野村広済寺の人々、村の人々が分け隔て無く彼らに接し、共に戦時下を生き抜いた時代があった事実。そして、そこから生まれた友情が今も脈々と受け継がれている心の交流を番組を通して伝えたい。

●あらすじ

第二次世界大戦中、ファシズムに反対の立場を主張し名古屋に強制収容されたイタリア人の文化人類学者ファスコ・マライーニ氏家族は、空襲の激化に伴い豊田市広済寺に移送され、その寺で生まれ育った加納家の人々と家族ぐるみの交流がはじまった。

91歳で亡くなった彼の遺髪と爪は、本人の遺言で今も広済寺に埋葬されている。墓石には「私は天体 月にかえります そして争いのないメッセージを地球に送ります」と刻まれている。マライーニの長女ダーチャさんと親交を深めた加納啓子さんの証言を中心に戦時中の外国人の姿、戦争の悲惨さを検証し、あらためて平和の大切さについて見つめます。

飯能ケーブルテレビ [2017/9/3放送]



報道特番2017 笑顔と歌声を乗せて走るスーパーマーケット ～東吾野の移動販売～

◎プロデューサー／和泉由起夫

◎ディレクター／澤井正延

[12分]

●制作意図

高齢化と共に、森林都市である飯能市の課題を掘り下げた。

また、行政に頼らず五十代、六十代の地元の人間による活動に注目し、彼らの活動を応援することもケーブルテレビならではの役目ではないかと制作にあたった。

●あらすじ

埼玉県飯能市の東吾野はその面積の大部分が山間地。そして他の地域と同様高齢化が進んでいる。この地で地元の六十代の有志が集まり2016年「移動販売」を開始した。月に一回20名ほどのメンバーが、軽トラックに年配の方が必要な生活必需品を満載し山道を走っていく。車のスピーカーからは唄自慢のメンバーで吹き込んだ童謡や歌謡曲が流れる。歌声を合図に家から出てくるお年寄り。「客」は幼少の頃からの近所のおばさん、おじさん。メンバーは「世話になった人たちに恩返しのため」と語る。そして買い物中には世間話に花が咲く。移動販売は心の交流も生んでいる。東吾野の移動販売という活動から「自立した町作り」の一面を紹介する。



青森ケーブルテレビ [2017/12/9放送]

けーぶるにつぼん祭・JAPAN 青森 ねぶた師、表現者の365日

◎プロデューサー／三浦直

◎ディレクター／伊藤一郎

[25分]

●制作意図

ケーブルテレビ連盟の4K制作番組企画「祭・JAPAN」のシリーズとして制作した番組。地域の祭を紹介する番組であるが、今回は祭本番の様子ではなく、祭のためにおよそ1年かけて準備をする「ねぶた師」とよばれる職人の1年間にスポットを当てた。八甲田の厳しい冬、待ち焦がれた新緑の緑、青森の強烈な四季の変化を背景に、色彩鮮やかな紙の造形が出来上がる様子を追うことで、独特な気候風土が祭りの礎になっている様子を浮き彫りにする。

●あらすじ

青森ねぶた祭の最終日、豪華な花火の下でねぶたの海上運航が行われます。この瞬間がまさに来年へのスタート地点となる。ねぶたの制作者である「ねぶた師」の一人竹浪比呂央は早速来年の題材の選定、下絵の制作に取り掛かる。スポンサーへの承諾、下絵への色づけ、パーツの制作、骨組み作業…。途中、竹浪の幼少期や、制作過程での細かな気遣いなどを交えて、完成の過程までを追う。祭本番、1年間に渡り思いを詰め込んできた「ねぶた」の晴れ舞台を見届けるとともに、終了後の解体がまた、翌年への原動力となる。



BTV

[2018/1/1放送]

まつろわぬ者～隼人伝～

◎プロデューサー／日高淳

◎ディレクター／牧瀬大輔

[29分]

●制作意図

南九州の人々の祖先とされる熊襲・隼人。日本書記のなかでは熊襲と呼ばれ、その後隼人と呼ばれるようになった彼らは、大和朝廷による中央集権体制が進められるなか、720年に隼人の乱を起す。時の権力にあらがい、敗れ反逆の民とされながらも、郷土の人々の中にはその勇猛果敢な姿に魅かれ、自らの祖先として親しみを持つ人も多くいる。番組では、こうした矛盾から現在まで引き継がれる地方による中央への従属的な関係に問題提起を行った。また、あまり知られていない熊襲・隼人の姿を検証することで、視聴者にふるさと南九州の歴史に関心を持ってもらい、地域の歴史に誇りを感じてほしいと思い制作した。

●あらすじ

鹿児島、宮崎の地で行われる隼人の首領をモチーフとした祭りである弥五郎どん祭りを通して現代に残された隼人の姿を伝えた。また、南九州に残された隼人の史跡や遺物を通して、隼人の中央政権への抵抗の歴史を検証した。番組では、海幸彦・山幸彦の神話や専門家へのインタビューを通して隼人と朝廷との関係を解明し、反逆の民とされ権力になびこうとしなかった隼人の複雑な姿を解き明かし、隼人の実像にせまった。